

関係各位

令和5年11月5日

第六十七回特別企画展

# 老松山 壹岐 安国寺展

開催のお知らせ

一支国博物館では、来たる令和5年11月17日(金)より令和6年1月8日(月祝)まで、第67回特別企画展「老松山壹岐安国寺展」を開催いたします。

安国寺・利生塔は、室町幕府初代将軍足利尊氏と直義兄弟の開基で、元弘の乱以来のすべての戦没者の鎮魂と天下泰平を祈念し、全国66ヶ国2島に設置されました。壹岐国においては、臨濟宗の僧・無隠元晦の開山により、もとあった海印寺が壹岐安国寺にあてられました。

全国の安国寺・利生塔は、尊氏・直義兄弟がこの世を去って以降は、中世、近世、明治維新と時代が下るにつれ、さまざまな情勢により廃絶や主旨替えを余儀なくされましたが、壹岐安国寺は、紆余曲折を経ながら現在まで約700年間あり続けました。その間、壹岐安国寺には二十八代にわたる住持の記録と様々な史資料が伝わりますが、それらの詳細は一部が判明しているだけで、多くは知られていません。

2022年3月、応永年間の壹岐安国寺文書3点が、古文書学的価値づけによって、他の中世文書と併せて「壹岐安国寺の中世文書」としてあらためて長崎県文化財に指定されました。

当展では、これを記念し、安国寺に伝わる文書や仏像、什物などを展示しながら、あらためて壹岐安国寺の沿革を紹介していきます。また、これまであまり知られることのなかった歴代住持の偉業や活動、そして、壹岐安国寺設置時の壹岐島情勢などにも迫ります。

つきましては、別紙のとおり、展示資料等をお知らせいたしますので、ご多忙中とは存じますが、お誘いあわせの上、ご来場くださいますよう、ご周知方よろしくお願ひ申し上げます。

壹岐市立 一支国博物館

事業／第67回特別企画展「老松山壹岐安国寺展」

会期／令和5年11月17日(金)～令和6年1月8日(月祝)

場所／一支国博物館1階 テーマ展示室

時間／午前8時45分～午後5時30分

休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、12月29日～12月31日 ※元日は開館

展示品数／約40件

観覧料／無料

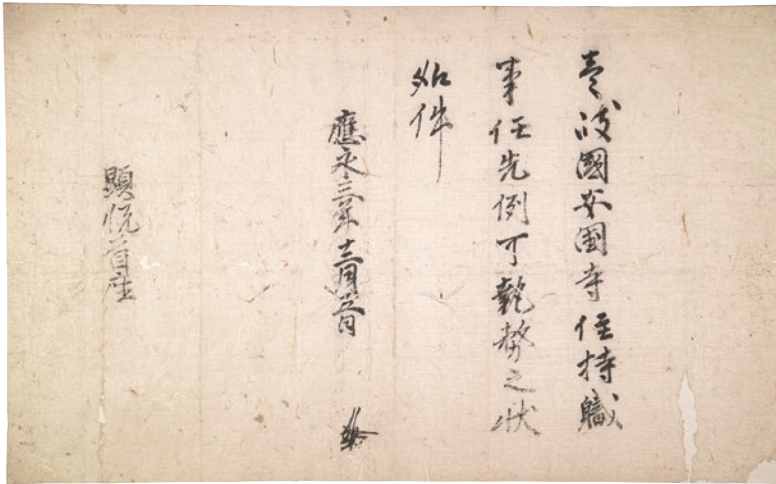
主催／壹岐市立一支国博物館

協力／老松山壹岐安国寺

後援／壹岐市、壹岐市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、壹岐市観光連盟

※主な展示資料ならびに関連講座は、別紙をご確認ください。





足利義満公帖 [応永3年] (長崎県指定文化財)



兆殿司画 絹本着色羅漢像図 (二幅)  
[室町時代] (長崎県指定文化財)



掌悪童子立像  
[室町時代]



掌善童子立像  
[室町時代]



背景：吉岐名勝図誌 巻之七 深江村 [江戸時代後期]  
(吉岐市指定文化財) 吉岐市所蔵

関連講座

場所 / 3階 多目的ホール

受講料 / 無料

定員 / 180名

※予約不要

【特別講座】仙厓さんの生涯と作品

仙厓義梵 (1750～1837) は、江戸時代に活躍した禅僧で、日本最初の禅寺、聖福寺 (福岡市博多区) の住職を務めました。書画を通して禅の教えを分かりやすく伝え、そのユーモアあふれる画風は大いに人気を博しました。仙厓の生涯と彼が生み出した愛らしい禅画の数々をご紹介します。

日時 / 令和5年11月19日 (日) 14:00～  
講師 / 宮田太樹氏 (福岡市美術館 学芸員)

【吉岐学講座】吉岐安国寺と白華和尚こぼれ話

由緒ある吉岐の禅林、老松山吉岐安国寺についてのお話です。とりわけ、魅力たっぷり、第二十四世住持、観翁妙音和尚、通称・白華和尚の“やきもの作り”にも焦点をててみます。

日時 / 令和5年12月3日 (日) 14:00～  
講師 / 河合恭典 (一支国博物館 副館長・学芸員)

配信停止などご要望がございましたら、お知らせ下さい。

このリリースに関する  
お問い合わせ

吉岐市立一支国博物館  
担当：広報 松嶋

〒811-5322  
長崎県吉岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1  
TEL : 0920-45-2731 FAX : 0920-45-2749  
m.matsushima@iki-haku.jp

※会期や内容が変更となることもございます。